

令和三年度
東京大学大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻
「研究室体験インターンシップ（第Ⅱ期）」募集要項

人間環境学専攻「研究室体験インターンシップ」とは、当専攻への入進学を検討している学生を対象に、研究室の活動に参加することによって将来の進路を決める際の参考にしていただくためのものです。最先端の研究を実際に体験する数少ない機会ですので、興味のある方は是非ご参加ください。

1. 受講に関して

- (1) 「3. テーマ一覧」に掲載する内容、期間に対し、受講することができます。詳細は、配属が決まった段階で担当教員とご相談ください。複数テーマを受講希望する場合は、申請書に記入してください。
- (2) 各テーマの希望理由およびクラス担当教員等の所見に基づき書類審査を行います。
- (3) 対面・オンライン・ハイブリッド等の実施形態については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更する可能性があります。

2. 申請手続等

対象学生	現在、大学3年又は高等専門学校専攻科1年に在籍する者等
定員	各テーマ最大2名
実施期間	令和4年2月14日（月）～令和4年3月17日（木）
実施場所	東京大学柏キャンパス新領域環境棟（〒277-8563 千葉県柏市柏の葉5-1-5） およびオンライン
参加費用	無料（ただし、交通費等は参加者負担）
申込方法	以下の書類を申込期限までに電子メール添付により提出してください。 (1) 「研究室体験インターンシップ」参加申込書 (2) 志望調査票 提出先： 電子メール件名 研究室体験インターンシップ参加申込 電子メールアドレス intern@h.k.u-tokyo.ac.jp
申込期間	令和4年1月12日（水）～令和4年2月4日（金）
修了証書	研究室体験インターンシップを修了した者には、人間環境学専攻長より、インターンシップ修了証書を交付します。
備考	(1) 受入に際して書類選考を行い、選考結果は令和4年1月28日（金）以降、本人、クラス担当教員、並びに事務担当者宛に電子メールにて通知します。 (2) インターンシップ参加の前に、災害傷害保険及び賠償責任保険等（「学生教育研究災害傷害保険（学研災付帯賠償責任保険）」等）に各自必ず加入してください。

3. テーマ一覧

通番	分野・担当教員（職名）	テーマ名	研究内容・方式
1	複雑環境シミュレーション分野・ 奥田 洋司（教授）	クラウドCAE体験	クラウドコンピュータ環境を利用して並列計算の基礎を学びます。さらに、CAE (Computer Aided Engineering) アプリケーションとして、CADモデリング、並列有限要素法構造解析、可視化を実施します。インターンシップはオンライン方式で実施する予定です。（期間：最大2週間）
2	複雑環境シミュレーション分野・ 陳 昱（教授）	複雑系のエージェントベースモデリングとシミュレーション	複雑系のエージェントベースモデルを構築し、コンピューターシミュレーションによって系の全体挙動の再現及びその背後に働く機構の解析を行います。研究対象となる複雑系の具体例には、金融市場、マクロ経済システム、多細胞生体組織、分散エネルギーシステム、2相流体などが含まれます。なお、インターンシップはオンライン方式で実施する予定です。
3	生活支援工学分野 吉武 宏（特任助教） 小竹 元基（准教授）	自動運転車いすの情報提示の研究	近年、空港などを移動する自動運転車いすが注目されている。このような自動運転では安全性とともに、搭乗者がどのように感じるかの快適性も重要であり、システムが搭乗者に情報を提示することで快適性を向上できる可能性がある。本テーマでは、自動運転車いすにおける快適性の問題抽出・課題設定・方策提案を行い、VR・MRを用いたシミュレータに提案した方策を実装し、その効果を検証するまでの研究の流れを体験してもらいます。本テーマは、対面で実施します。（期間：2週間～3週間）
4	知的システムデザイン分野・ 稗方 和夫（教授）	システムズアプローチによる複雑システムの設計	大規模複雑システムの設計に有益なシステムズアプローチの手法を習得し、社会の課題などへの適用演習を行います。E. Crawleyほか(2015), System Architecture: Strategy and Product Development for Complex Systems, PearsonおよびH.A. Simon(1996), The Sciences of the Artificial Third Edition, MIT Pressを参考にしてください。初回および最終回は対面で行い、そのほかの活動はオンラインを予定しています。（期間：1～2週間）
5	アンビエント・メカトロニクス分野 山本 晃生（教授） 吉元 俊輔（講師）	ハプティックデバイスの開発	バーチャルリアリティや遠隔操作において、触覚情報を伝えるためのハプティックデバイスが注目を集めています。このハプティックデバイスについて、センサ、アクチュエータ、制御システムなどの基礎を学びながら装置の開発から評価までを体験してもらいます。（方式：対面、期間：1週間～2週間）

※ 研究室についてのより詳細な情報は、人間環境学専攻ホームページ <http://www.h.k.u-tokyo.ac.jp/> をご参照ください。

令和元年度 東京大学大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻
「研究室体験インターンシップ（第Ⅱ期）」参加申込書

令和 年 月 日

人間環境学専攻長 殿

令和元年度東京大学大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻「研究室体験インターンシップ（第Ⅱ期）」への参加について下記のとおり申し込みます。

(申込者)

学 校 名 :

学部・学科・学年 :

(ふりがな)

氏 名 :

連絡先

住所	〒 TEL (連絡用携帯電話等)
	E-mail アドレス
家族の 連絡先	〒 TEL

クラス担当教員 (学科長等)	氏名	所属
	TEL	E-mail アドレス
受入決定送付先 事務担当者	氏名	係名
	TEL	FAX
	E-mail アドレス (必ずご記入ください)	
単位認定の有無 (必ずご記入ください)	・有 (単位) ・無	体験講座受講修了者には修了証書を授与します。 なお、高等専門学校において単位認定を行う際、所定の様式が必要な場合は本申込書と一緒に送付願います。
貴学生が参加するにあたり、クラス担当教員(学科長)の所見をお聞かせください。		

次の欄は、在籍学校のクラス担当教員及び事務担当者が記入してください。

災害傷害保険、賠償責任保険等 加入状況	<input type="checkbox"/> 学生教育研究災害障害保険 (学研災付帯賠償責任保険含む) <input type="checkbox"/> その他 ()
------------------------	---

志望調査票

希望順位 1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____

上記希望テーマのいずれも受入れ不可となった場合、その他のテーマでも体験参加を希望するか。

はい (研究室の選定は大学に任せる) ※書類選考結果によっては、すべてのテーマで受入れ不可となる場合もあります。

いいえ (上記いずれかの希望テーマでのみ、体験に参加したい)

複数テーマの受講を希望するか

はい 希望テーマ数 _____ テーマ 希望受講期間 _____ 週間

いいえ (1テーマのみ受講を希望する)

希望理由：例えば、希望する研究室体験に参加することにより、現在の学習や実験、卒業研究に、どのように生かしていきたいか等、あるいは、希望する研究室体験の参加には、どのような目標をもっているのか、どのようなことをやってみたいのか等について、それぞれのテーマごとに 200～300 字程度で記入してください。

希望テーマ

第1希望	No	テーマ名：
【希望理由】		
第2希望	No	テーマ名：
【希望理由】		
第3希望	No	テーマ名：
【希望理由】		